

GODZILLA KONTRA GIGAN



Film japoński Reżyseria: JUN FUKUDA Produkcja: TOHO
W rolach głównych: HIROSHI ISHIKAWA, YURIKO HISHIMI, TOMOKO UMEDA 5-0-64

Godzilla kontra Gigan (「地球攻撃命令 ゴジラ対ガイガン」 福田純監督、1972年) デザイン: ロムアルト・ソハ

ポーランドの映画ポスター

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

Polish Posters for Films From the Collection of National Film Center

2005年10月28日[金]—12月25日[日] 東京国立近代美術館フィルムセンター展示室[7階]

毎週月曜日および11月28日[月]—12月5日[月]は休室 開室時間: 午前11時—午後6時30分(入場は午後6時まで) 主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター
料金: 一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生40円(20円) *料金は常設の「展覧会 映画遺産」の入場料を含みます。*()内は20名以上の団体料金です。小・中学生は無料です。
*大ホールで企画上映をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。*シニア(65歳以上)の方は、必ず年齢を証明できるものをご提示ください。

ポーランドの映画ポスター

東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより

戦後ポーランドのポスターは、グラフィック・デザインの世界で国際的にも高い評価を確立していますが、その中にひととき大きな位置を占めているのが映画ポスターです。その表現は、しばしば映画の内容と衝突しかねないほどの自由さで見る者を圧倒し、映画ポスターに対する我々の固定的なイメージを揺るがします。そして、このことは我々に馴染みの深い日本映画のポスターについても例外ではなく、常に予想もつかないようなデザインがファンの目を釘付けにして放しません。

フィルムセンターでは1972年の「ポーランド映画の回顧」以来、数次にわたる特集上映を通して同国の映画文化を紹介してきましたが、それらを機にポーランドから譲渡された映画ポスターも多数に上っています。小ホールの上映プログラム「ポーランド映画、昨日と今日」に続いて開催の運びとなった本展では、コレクションの中から選りすぐった約50点のポスターを紹介しながら、極めてユニークな映画とデザインの間を概観します。

フィルムセンターが誇る貴重な収集の成果をお楽しみください。



Zamek z piasku
〔砂の器〕野村芳太郎監督、1974年
デザイン：エヴァ・リベラ



To ja zabiłem
〔殺したのは僕だ〕スタニスワフ・レナルトヴィッチ監督、1974年
デザイン：ヴァルデマル・シフィエジ



Dzieje Grzechu
〔罪物語〕ヴァレリアン・ポロフチク監督、1975年
デザイン：イェジ・フリサク



Super ekspres
〔新幹線大爆破〕佐藤純弥監督、1975年
デザイン：クシユトフ・ヴジェシニェフスキ



Do widzenia, do jutra
〔明日までさようなら〕ヤヌシュ・モルゲンシュテルン監督、1961年
デザイン：バルバラ・バラノフスカ

N
F
C
東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6
お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>
▼交通
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

